

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	時間数
いのち教育論	12
学習臨床学特論	8
教育と人権特論	30
学校カウンセリング特論	30
学校の危機管理特論	30
教育法規特論	30
心身医学特論	30
臨床心理面接特論Ⅱ	30
臨床心理演習	30
病弱心理・生理学論	30
肢体不自由心理・生理学論	15
病弱教育課程・指導法	15
解析学演習	30
指揮法研究	30
ピアノ演奏研究Ⅱ(アンサンブルを含む。)	15
西洋美術史特論	30
体育学特論	30
金属加工学特論	30
食教育特論	30
住居学演習	30
現代の教育改革とビジョン	15

イ 学校教育学部

授業科目名	時間数
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習Ⅰ	30
社会教育演習Ⅱ	30
博物館概論	15
博物館資料論	10
学校図書館メディアの構成	23
教育方法学	15
生涯学習概論B	30
人権・同和教育	30
心理学概論	30
社会福祉Ⅰ	30
社会福祉Ⅱ	30
養護内容	30
子どもの福祉	30
漢文学講読	30
国文学講読A	30
比較文化A	30
英語文化圏文学Ⅰ	30
英文学演習	30
社会学概説	30
哲学概説	30
日本史研究B	30
倫理学概説	30
地誌学概説	15
国際地誌学	15
算数科指導法	30
算数	30
微分積分学演習	30
解析学A	30
化学実験	60
理科教育学	30
理科教育内容・方法論	30
理科教育課程開発論	30
音楽	40
合奏C	30
独唱Ⅲ	30
表現と鑑賞	15
体育	30
体育哲学	30
金属加工法	30
保育学	30
保育学実習	30
家庭	4
住居学(製図を含む。)	10
被服学	15

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間
人間教育学セミナー（教職の意義）	教育実践の視点からの教職の意義。	4
総合・生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	8
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	8
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	4
中等英語科指導法（授業論）	中学校の英語科授業における授業計画の立て方や評価について実践的な立場から学ぶ。	6
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際。	8
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数指導の評価の実際。	4
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際。	4
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際。	4
中等家庭科指導法（教材論）	中学校家庭科の教育現場における教材について、紹介、指導、助言を行う。	2
初等家庭科指導法	教育現場におけるいのち教育の実践について指導助言をおこなう。	12
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。	12
中等技術科指導法（課程論）	技術科のカリキュラム開発と実践。	4
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践(特に技術とものづくり)。	2
中等技術科指導法（課程論）	技術科カリキュラム構成と実践(特に情報技術とコンピュータ)。	2
中等技術科指導法（基礎論）	技術科のカリキュラム開発と実践。	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践(特に技術とものづくり)に関する基礎論。	4
中等技術科指導法（基礎論）	技術科授業の構成と実践(特に情報技術とコンピュータ)に関する基礎論。	2
初等音楽科指導法	つくって表現する活動や身体表現活動についての指導法。	4
初等音楽科指導法	総合的な学習と音楽科および鑑賞指導についての指導法。	2
初等音楽科指導法	諸民族の音楽と日本の音楽についての指導法。	2
初等音楽科指導法	初等音楽における指導実践の方法。	4
中等音楽科指導法（学習課程論）	中等音楽と初等音楽のつながりを考える。	2
中等音楽科指導法（実践応用論）	中学校教育現場において心得ておくべき音楽科指導法。	1
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科教育に関して長年の実績を踏まえた指導法。	1
総合演習（学校と食の教育）	人と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、食に関する指導の実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	12
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
特別支援教育基礎 （介護等体験の指導内容を含む）	特別支援教育における指導及び社会福祉施設の概要、介護等体験の主旨について論述する。	8
初等体育科指導法	模擬授業を通して小学校の体育授業の作り方、進め方を学ぶ。	8
図画工作科指導法	小学校図画工作科の授業に関する内容。	8

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間
数学学習過程論	数学的内容に対する生徒の理解を促す活動や課題の検討。	8
総合・生活	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	12
総合学習と生活科	小学校における生活科と総合的な学習の具体的な展開を講ずる。	10
家庭の教育と育児	少子化が進む現代の家庭教育及び保育所等の保育を取り上げ、乳幼児の保育・教育について実践的な理解を深める。家庭の子育てをめぐる諸問題や子育て支援、そして保育所における3歳未満児の保育について具体的事例に基づいた論議と考察を行うとともに、実際的な技能を習得する。	6
実践セミナーⅠ「家庭」	小学校家庭科の模擬授業実践について、指導助言を行う。	2
実践セミナーⅠ「家庭」	中学校家庭科の模擬授業実践について、指導助言を行う。	2
実践セミナーⅠ・Ⅱ「理科」	小・中学校の理科授業で活用できる教材の体験を通して、教材を作成する力を養う。	1

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間
保育実習Ⅱ	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅰ	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	4
介護等体験（社会福祉施設） 事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、教育実習全体の心構えや学習指導案の作成指導等	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、音楽の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、体育の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、図工の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、国語の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、社会科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、算数の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、理科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、生活科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、道徳の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	4
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的スキルを15グループに分けてグループ単位で実践的に習得させる。板書指導とその構造化の指導を担当する。また、表現テスト（話し方等）や教職キャリアガイダンスも一部担当する。	30
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	基礎的授業技術の習得を目的として、板書の基本、各科目の授業づくり、グループワークの基本、発問の構成などを学ぶ。	2

③ ティーチング・アシスタント

修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
体験学習A	伊佐 他	前期	集中	30 時間
体験学習B	五百川	通年	集中	30 時間
体験学習C	榊原	通年	不定期	60 時間
体験学習D	高石	通年	不定期	30 時間
体験学習E	立屋敷 他	通年	不定期	30 時間
体験学習F	大場孝 他	通年	不定期	30 時間
体験学習G	平野俊 他	前期	水・午後	30 時間
体験学習H	東原 他	通年	不定期	30 時間
体験学習J	安部泰	通年	不定期	30 時間
スポーツ実践A・B	清水, 土田, 榊原	前期	水 2	30 時間
スポーツ実践C・D	清水, 土田, 榊原	前期	火 2	30 時間
ウォータースポーツ	清水, 加藤泰, 周東	前期	集中	30 時間
マリンスポーツ	清水, 加藤泰, 周東	前期	集中	30 時間
中国語・中国事情	黎	前期	月 3	30 時間
教育情報応用演習	井上	前期	月 4	30 時間
教育情報応用演習	大森	前期	金 4	30 時間
教育情報応用演習	高野	前期	水 2	30 時間
教育情報応用演習	石川	前期	火 1	30 時間
表現・相互行為教育演習	加藤泰, 松本健 阿部亮	前期	火 1	15 時間
表現・相互行為教育演習	加藤泰, 松本健 阿部亮	前期	火 2	15 時間
表現・〈子ども〉の活動A・B	西村, 洞谷, 大橋 阿部靖, 松尾	前期	金 1・2	30 時間
表現・〈子ども〉の活動C・D	西村, 洞谷, 大橋 阿部靖, 松尾	前期	金 1・2	30 時間
音楽	阿部亮, 池田, 後藤 時得, 平野俊	通年	木 3・4	30 時間
図画工作A	洞谷, 西村, 高石 松尾, 安部	前期	金 3	30 時間
図画工作B	洞谷, 西村, 高石 松尾, 安部	前期	木 1	30 時間
図画工作C	洞谷, 西村, 高石 松尾, 安部	前期	火 3	30 時間
図画工作D	洞谷, 西村, 高石 松尾, 安部	前期	木 4	30 時間
算数科指導法AB	高橋等, 伊達	前期	木 2	15 時間
算数科指導法CD	高橋等, 伊達	前期	火 2	15 時間
初等音楽科指導法AB	時得, 後藤, 池田 上野正, 長谷川	前期	月 2	30 時間
初等音楽科指導法CD	時得, 後藤, 池田 上野正, 長谷川	前期	木 2	30 時間
初等体育科指導法AB	加藤泰, 下村義, 周東	前期	月 1	30 時間

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
初等体育科指導法CD	加藤泰, 下村義, 周東	前期	水 1	30 時間
食生活論	立屋敷	前期	木 1	30 時間
造形基礎AC	福岡, 安部	前期	月 5	30 時間
指揮法	後藤, 長谷川	前期	木 5	30 時間
書写書道Ⅱ	押木	前期	月 3	30 時間
心理学実験	中山, 内藤, 越, 奥村	前期	木 3・4	30 時間
コンピュータ・プログラミング入門A	高野	前期	木 3	30 時間
地学実験	大場孝, 天野, 濤崎	前期	月 4・5	30 時間
造形基礎BD	西村, 高石, 松尾	前期	月 4	30 時間
電気工学実験実習	川崎	前期	木 4	30 時間
食科学実験B	立屋敷	前期	月 4・5	30 時間
工芸表現B	高石	前期	木 5	30 時間
総合演習 (学校と食の教育)	立屋敷	後期	月 5	30 時間
スノースポーツ	市川, 加藤, 下村義 直原, 榑原, 清水 大橋, 周東, 増井晃 上野光	後期	集中	30 時間
保育・表現の指導法	阿部靖, 香曾我部	後期	金 2	30 時間
教育情報基礎演習	井上	後期	月 4	30 時間
教育情報基礎演習	大森	後期	金 3	30 時間
教育情報基礎演習	高野	後期	金 4	30 時間
教育情報基礎演習	石川	後期	木 2	30 時間
表現・状況的教育方法演習	高石, 西村, 大場孝 田島, 安部泰	後期	月 5	30 時間
冬季野外運動 (スキー)	市川	後期	集中	30 時間
木材機械加工法	東原	後期	月 4	30 時間
調理の理論と実習	立屋敷	後期	火 3・4・5	30 時間
機械工学実習	黎	後期	木 4	30 時間
生物学実験	小川, 谷	後期	木 4・5	30 時間
計算機数学演習	中川	後期	木 4	30 時間
カウンセリング基礎演習	高橋靖	後期	水 2	30 時間
コンピュータ・プログラミング入門B	高野	後期	月 3	30 時間
書写書道Ⅰ	押木	後期	月 2	30 時間
数学基礎演習	溝上	後期	火 4	30 時間
伝統絵画表現と鑑賞	福岡, 洞谷	後期	火 5	30 時間
物理学実験	定本	後期	月 3・4	30 時間
日本画表現	洞谷, 福岡	後期	火 4	10 時間

担当教員の [] 書きは、非常勤講師を表す。

博士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
臨床心理基礎実習 I	佐藤淳一 他	前期	木 3・4	53	時間
カウンセリング基礎演習	高橋 靖子	後期	水 2	27	時間
特別支援教育研究法演習	我妻 敏博	通年	不定期	53	時間
地域調査法B	佐藤 芳徳	前期	集中	27	時間
木工芸研究	西村 俊夫	前期	木 1・2	45	時間
メディアデザイン研究	西村, 安部	後期	月 1・2	53	時間
工芸表現A	西村 俊夫	後期	木 5	27	時間
電気技術実験実習	川崎 直哉	後期	集中	27	時間
実践場面分析演習 I 「家庭」	得丸定子 他	前期	火 5	27	時間
初等家庭科指導法AB	得丸, 佐藤	前期	火 2	13	時間
初等家庭科指導法CD	得丸, 佐藤	前期	火 1	13	時間
初等家庭科指導法免P	得丸, 佐藤	前期	木 6	13	時間

担当教員の [] 書きは, 非常勤講師を表す。

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
国語（書写を含む。）	押木	前期	金 1・集中	30	時間
音楽	阿部亮 他	通年	月 6	60	時間
図画工作	洞谷 他	前期	木 6	30	時間
体育	市川	前期	集中	30	時間
家庭	細江 他	前期	月 2	30	時間
道徳の指導法	林	前期	金 6	30	時間
初等音楽科指導法	峯岸	前期	火 2	30	時間
初等体育科指導法AB	加藤泰, 下村義, 周東	前期	月 1	30	時間
初等体育科指導法CD	加藤泰, 下村義, 周東	前期	水 1	30	時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	木 6	26	時間
理科	天野 他	後期	月 2	30	時間
特別活動論	橋本	後期	火 1	30	時間
図画工作科指導法	阿部靖, 五十嵐史	後期	木 6	30	時間
生徒指導論	安藤, 稲垣	後期	月 1	15	時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 他	後期	木 2	60	時間

担当教員の [] 書きは、非常勤講師を表す。

⑤ リサーチ・アシスタント

任 用 期 間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
平成21年6月1日 ～平成22年3月31日	200時間	中国東北部における水文環境の変化及びその教材化に関する研究	学校教育研究科	佐藤 芳徳 副学長
平成21年6月1日 ～平成22年3月31日	200時間	瞑想を導入したいのち教育とその評価～生化学的評価と心理尺度評価～	学校教育研究科	得丸 定子 教授